

# 2017年8月18日 第3211回例会

於： 横須賀商工会議所

- <点鐘・開会> 12:30 小林 会長  
<斉 唱> 「手に手つないで」  
<ゲスト紹介> \*有限会社たのしや本舗 取締役  
株式会社ヨコスカアグリファミリー (YAF) 代表取締役 下澤 敏也 様  
\*米山奨学生 金 穂 勲 様  
\*横須賀タワークリニック 院長 平田 文彦 様  
<ビジター紹介> \*第1グループAG 宮本 清志 様・補佐付幹事 平野 忠雄 様  
\*横須賀北RC: 会長 石井伸二 様・副会長 千葉 茂 様  
\*三浦RC: 会長 秋本清道 様・副会長 鈴木正孝 様  
副幹事 奥山浩司 様  
\*横須賀西RC: 会長 嘉山 賢 様・副会長 長島澄雄 様・幹事 小池克彦 様  
\*横須賀南西RC: 副会長 長瀬 弘 様  
\*かながわ2780REC: 会長 原いづみ 様・副会長 田代晴香 様  
<誕生月祝> ・渡 邊 磨 (S. 44. 8. 3) ・信 木 啓 輔 (S. 36. 8. 5)  
・淡 路 なな恵 (S. 42. 8. 10) ・土 田 匡 明 (S. 40. 8. 16)  
・吉 田 啓 司 (S. 27. 8. 22) ・山 下 和 男 (S. 40. 8. 27)  
・谷 繁 信 (S. 21. 8. 31) ・八 巻 敏 博 (S. 28. 8. 31) 各会員  
<入会月祝> ・波 島 頭 明 ・佐久間 博 一 ・岡 昌 憲 ・野 坂 英 八  
・宮 島 才 一 ・加 藤 元 章 ・小 林 康 記 ・斎 藤 慎 太 郎  
・西 村 安 彦 ・高 橋 仁 子 ・齋 藤 秀 人 ・中 島 洋  
・井 苺 堯 子 ・曾 我 宗 光 ・秋 本 義 紀 ・池 上 健 一  
各会員  
<会長報告> \*ガバナー事務所より  
・財団設立50周年記念式典について  
2018年2月4日(日)  
於: グランドニッコー東京 台場  
・第14回ロータリー韓日親善会議に  
ついて  
9月23日(土)  
於: グランドハイアット・ソウル  
<委員長報告> \*雑誌委員会 薦野副委員長より  
ロータリーの友8月号  
\*久保田会員より VTT 冊子について  
<幹事報告> \*ガバナー月信 No. 13/No. 2  
\*三浦 RC よりじゃが芋植え例会延期のお知らせ  
8月17日(木) ⇒ 8月24日(木)  
\*例会終了後 第1グループ三役会開催(302研修室)  
<出席報告> \*出席委員会植田員長より8月18日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
111名	94名	75名	25名	2名	77.00%

## <ニコニコ報告>

- ・第1グループガバナー補佐 宮本 清志 様  
今日は三役会でおじゃましました。宜しくお願いします。

**かながわ 2780REC  
URL 変更のお知らせ**

### ①ウェブサイトURL

<http://Kanagawa2780rec.org/>

### ②クラブ代表メールアドレス

[info@kanagawa2780rec.org](mailto:info@kanagawa2780rec.org)

- ・横須賀北RC三役 お世話になります。宜しくお願いします。
- ・三浦RC三役 例会に出席させていただきます。
- ・横須賀西RC三役 本日第1グループ三役会、例会におじゃまします。よろしくお願い致します。
- ・横須賀南西RC 長瀬 弘様 本日、よろしくお願い致します。
- ・かながわ2780REC会長 原いづみ様 先日の横須賀RC、横須賀RAC合同例会では楽しい一時を過ごさせていただきました。ありがとうございました。急なことですが8月9日より当クラブでウェブサイトのURLが変更になりました。よろしくお願い致します。
- ・かながわ2780REC副会長 田代晴香様 先日の観音崎夜間例会ではお世話になりました。本日は晴天で横須賀のすてきな海をながめながらのドライブを楽しみながらまいりました。
- ・三 役 有限会社たのしや本舗 取締役、株式会社ヨコスカアグリファミリー (YAF) 代表取締役 下澤敏也様、本日の卓話よろしくお願い致します。
- ・鈴木 働、福 西、植 田、田 邊、鈴木 働、新倉 働、勝 間、明 野、澤 田、薦 野、濱 田、根 岸、若麻 績、井 莉、石 田、兼 城、鈴木 働、土 田、藤 原、物 井 各会員 有限会社たのしや本舗 取締役、株式会社ヨコスカアグリファミリー (YAF) 代表取締役 下澤敏也様、本日の卓話楽しみにしております。よろしくお願い致します。
- ・佐久間、江 沢、前 川、齋藤 働 各会員 米山奨学生 金 穂 勅様、ようこそお越し下さいました。
- ・三 役 第1グループガバナー補佐宮本清志様、補佐付幹事平野忠雄様、第1グループ三役の皆様ようこそお越し下さいました。
- ・瀬 戸、吉田 働、新倉 働、久保田、鈴木 働、山 ・、大 野、山 下、長 尾、石 田、宮 島、外 崎、北 村、飯 塚、前 川、岡、勝 間 各会員 第1グループガバナー補佐宮本清志様、補佐付幹事平野忠雄様、第1グループ三役の皆様ようこそお越し下さいました。
- ・信 木、淡 路、土 田、吉田 働、山 下、谷、八 卷 各会員 誕生月祝いとして
- ・波 島、佐久間、岡、宮 島、加藤 働、小林 働、齋藤 働、井 莉 各会員 入会月祝いとして
- ・小山ローターアクト委員長、鈴木 働 親睦委員長 8月4日、合同例会に多くの皆様にお越し頂きありがとうございました。小雨の中大変ありがとうございました。
- ・猿 丸、加藤 働、岩 瀬、鈴木 働、井 莉、齋藤 働 各会員 先日のローターアクトとの合同例会に際しましては親睦委員およびローターアクト委員の皆様、大変お世話になりました。小雨の中でしたが、とても楽しかったです。観音崎京急ホテルの皆様もありがとうございました。
- ・信 木 会員 合同例会ではグランピングありがとうございました。またぜひご利用ください。よろしくお願い致します。
- ・丸 山 会員 なんとなく
- ・岡 田、勝 見、八 卷、高橋 働、澤 田、谷、勝 間、山 下、齋藤 働 各会員 写真をいただいて

## <卓 話>

## 「食×農×ビール ～ 街づくり」

有限会社たのしや本舗 取締役  
株式会社横須賀アグリファミリー(YAF)  
代表取締役 下 澤 敏 也 様

私は「横須賀プライド」を掲げています。三浦半島、横須賀が大好きです。追浜に生まれずっと横須賀に住んでいます。大好き過ぎて自分の足元をあまり見ていないなというお話をしたいと思います。

最初、20年くらい前に追浜の自分の家を改造して20席くらいの本当にかっぴけな居酒屋を開業しました。当初は3か月くらいでお店が潰れてしまうのではないかとと思われるほどでした。それが追浜で開業した「うれしたのし屋」という店です。その当時は食材探しに横浜の市場に通ったり、近くの八百屋さん、お魚屋さん頼んで材料の仕入れをしながら創作料理の店として営業していました。そうしたところ3か月経ってもお客さんが来ない。そのような状況下で初めて僕は起業して何をしたいのかを考えました。

飲食業で起業し目標を探すと、東京に住みたい、東京へ出店したいということを考えるようになっていました。しかし、そこでふと立ち止まり追浜から三浦半島を振り返りました。追浜は横浜の入口なんですね。振り返った時に三方海に囲まれて、丘の上になると畑がダァーっとならんでいる、三浦半島のイメージがマグロしかなくてマグロ湾というイメージ…。三浦半島が好きで、これだけ生活してきたにも関わらず地元の食材が自分の中では見いだせなかった。そこで、午前中は三浦半島をまわり、漁港に駆け込み、直接、農家を訪問し、市場に行ったりしました。私も切羽詰っていたので関係者以外立ち入り禁止の場所へも入りこんで関係者と直接お話ししたりしました。そして、お手伝いをしながら交流を深めると、少しずつ魚を直接売って貰えるようになってきました。その魚を切って売るだけでお客さんの笑顔が増えます。やはり美味しいです。時々、耳にする「活メの魚、獲りたての魚ってコリコリしておいしい。寝かせた方が脂がのって美味しい」という言葉。いやー、やっぱり、三浦半島の獲りたての魚にはかなわないと思う。このコリコリ感というか新鮮感はこの三浦半島でしか味わえない。お客さんは凄いです。美味しいものをご存知です。

それ以降、魚がいっぱい入荷した時に、舟盛り付の宴会を3000円位で提供しました。以来、それが好評で、たくさんのお客さんが来てくれるようになりました。予約がとれないという忙しさになってきました。三浦半島の食材は素晴らしい。それから上り調子で横浜に進出して今は6店舗を経営しています。

そんな中、一番気になったのが地元のおいしい素材を地元の人知らないこと。僕は三浦半島の食材や魅力を知ってほしい。そこにいる沢山の魅力的な人たちも知って欲しい。特に生産者は非常にストーリー性を持っています。例えば一番最初に会った松輪の漁師さん。松輪のサバって必ず釣りなんです。網じゃなくて一本釣り。しかも竿じゃなくて糸です。サバがいたら取り上げます。ヤハズという金具を使って、手を一切触れずに空中で外します。そのまま漁倉に、この間、僅か1.3秒。水揚げは職人達が梱包まで5分。そのようなストーリーがあるんです。また、農家さんの素材もストーリーがあります。食材をお客様へ、ただただ、「はいどうぞ」と出ただけでは、おいしさは伝わりません。食べて「まあちょっとおいしいな」では記憶に残りません。何を思い出すかという、やはり、そういうストーリーや見た目なんです。そういうものが提供できて初めてリピートに繋がる。なので僕はこのストーリー、生産者の思いと誇りをお伝えしたい、これだけ素敵な人がいることを、どんどん発信して多くの人に知ってほしい。そんな思いで商売をしてきました。最近、食のあり方というのが注目されています。食を通して人と人とが繋がりあうリアルにコミュニティが作れる。僕は居酒屋に誇りを持っているというか飲食店に誇りを持っています。店舗があつて人があつて地域がある、これを繋げるのがお店の役割かなと勝手に思っています。

最近、ネットのスーパーとか会話をしないで買い物ってできる世の中になってしまっている。一言も喋らないでも物が手に入る。子どもたちは下を向いてゲームをやり、人と会話をしない一日が結構ある。なんか寂しいですね。昭和生まれの俺としては、人と人が繋がってコミュニケーションを取って何かが始まるというのをしたいのですが、最近それが減ってる。昔は、追浜商店街には商店が結構あったんです。その商店街に僕が買い物に行くと必ず八百屋のおじちゃん、おばちゃんが声を掛けてくれる。魚屋の横におじちゃんがワンカップ持って、戦争の話とか聞かせてくれました。そこが一つのコミュニティで、そこに教育があったり出会いがあったり、色々あったと思うんですね。それが最近なくなったと思います。もう人が人としてあるべき姿、それは人と人とがきちんと接することで、子どもが大人の顔を見上げる。でも、大人自身、笑顔が消えている人も多いため、子どもたちも上を向かないのかなと考えたりします。食材にある役割、それは、人と人のリアルコミュニケーション社会の復活。このたび横須賀生まれのビールを始めたんですけど、ビールを作ったのは大人の笑顔を作るため、そして最終的に子どもの顔を上に向かせたいという気持ちで作りました。大人と子供のコミュニティ半島を作り、横須賀三浦半島で食のテーマパークを作りたいと思っています。

3年前に食品加工工場を作りました。コミュニケーションラボラトリーとコラボなのですが、実際にトマトが溢れていたりとか、スイカが溢れていたりとか、農家さんの困ったが全部うちに集まってきました。ここで色々なドレッシングなどを作っています。

農業生産法人ヨコスカアグリ。これは、農業者二人と農業生産法人を立ち上げて、横須賀の林で一反の畑をやっています。

2月の末にクラフトビール、横須賀ビールを立ち上げました。この3つが重なり合うものをこれから作りたいと思っています。国のモノづくり補助費を頂いて素晴らしい機械も揃い、農家さんが作りたいものを

試験し、商品が本当に売り出せるかということをやっています。何故農業生産工場にしたかということ、横須賀市が経済特区になっていて、複合施設を作るにあたり、農業生産工場を持っていると畑の上に建物が建てられ、経済的なイベントができたり、子供が土に触れることもできて良いのかなど、色々模索しております。横須賀ビールですが、リーフという野菜を使ったビールを造ったり、トマトを使ったビールを造ったり、たぶん日本であまり飲まないようなビールも作っています。ビールの持つ魅力はやっぱり笑顔の創生。大人はやっぱりビールを飲むと笑顔になりますね。地元の素材に特化した異色のビール屋です。将来的には、畑の真ん中に周りを観光農園が囲んで、中に食品加工工場、ビール工場、レストランがあつて、マルシェがある。そんな夢を持ちながら、いつしか横須賀で実現したいと思っています。子供達もこの観光農園で採ったものを食品加工工場に持ち込んで、それが食事になって出てくる。三浦半島に住んでいるからできる。横須賀の人達が、「いいな」、「こういう町に住んでいて良かったな」と言える、これが「横須賀プライド」なのかなど。やっぱり地元のことをよく知ること、そういうことが「横須賀プライド」なのかなど本当に思います。地元プライド、横須賀プライドを持っている人達がいっぱい住んでいると他の人がたぶん来ると思うんですね。僕は今月末からポートランドへ行きますが、ここは全米住みたい町ナンバーワンです。一步そこに足を踏み入ると、みんなポートランドが大好きです。観光客とかよそ者に非常に優しくなる。信号渡ろうとすると必ず車が止まってくれます。笑顔を振りまいてくれます。町を歩いていると必ず声を掛けてくれます。こんな町に横須賀もなれたらいいなと非常に思います。まずは横須賀の新しいものじゃなくて、昔からあるものを知ることですね。あとは横須賀のコンパクトシティの中にある人がもの凄く良いということを知る。その人と繋がる。食に関してでしか僕は知りませんが、食の中では非常に繋がります。それを基に誇りに思いどンドン後世に伝えていけば、もっと子どもが元気になって、他から来たお客様の笑顔になる。こんなことを目指して、今はビールを作っています。

ポートランドで面白いのが、ビールの醸造場が、地域だけで66あります。これで世界1なんです。そのビールの醸造場があつて、そこに必ず生産者、農家さんが寄り添ってるんですね。その町からすぐに農園があつたりとか、小高い丘にワイナリーがあつたりとか、やっぱり三浦半島に非常に似ています。毎日ファーマーズマーケットをやっています。そこにビール工場が出来ました、生産者が来ます。クリエイターという方々が寄り添います。いつの間にか、その隣に屋台が出来たり、飲食店が出来たりするんですね。一つの醸造場ができるとそこに町が形成される。人と人とが繋がる。繋がった時に必ずそこに商売が生まれて、町ができるという本当に理想的なところなんです。3月から10月までは乾季といって晴れている日が多いですが、11月から2月までは80%雨らしいです。農家はそこで休みますので、そこでビール作りを手伝ったりとか、地の利を生かして色んな生き方を寄り添っているのが非常にいいかなと思っています。

繋がるというロータリークラブさんの精神だと思いますが、人と人とが繋がって、まちづくりを支えていく、必ず、みなさんに愛されるまちづくりというのができると思います。僕もこの先、食を通じて皆さまを繋げていきたいなど、子どもたちも食を通じて笑顔を増やしたいなどと思っていますので、ぜひぜひ横須賀ビールを覚えておいてください。トマトのビール、レモングラスのビール樽があります。本当に地元のものを使ったビールです。ぜひぜひ飲んでください。

<閉会・点鐘> 19:30 小林 会長

週報担当 門井 宏二郎